



ロータリー：
変化をもたらす

週報

入間ロータリークラブ



Rotary
第 2570 地区



2017-2018 年度 RI 会長:イアン ライズリー RI2570 地区ガバナー: 細井保雄 会長:関谷永久 幹事:宮崎正文

第 15 号 2992 回例会 2017 年 10 月 19 日 (木)

『今日もロータリーしましょう!』

<ビジター・ゲスト>

入間市環境経済部参事兼
総合クリーンセンター所長 栗原庸之 様

<会長の時間> 関谷永久会長

本日は郷土愛に満ちた
地元の起業家を紹介した
と思います。

歴史上幕末とは 1853
年ペリー提督の浦賀来航
から戊辰戦争までですが
此のころ西欧の産業革命
の影響が日本に伝播してきました。



時代の変革で産業イノベーションと
なる中 1855 年に石川幾太郎はこの入間市
で九人兄弟の長男として誕生し 24 歳で家
業の製茶の仲買商を継ぎその後製糸業に
進出しました。その後事業は機械化増産の
波にも乗り日露戦争、第一次世界大戦など
の特需の影響も受けて製糸工場は川越、福
島、愛知、三重までに拡大をしました。そ
して当時製糸業は主に糸を紡ぐ作業が女
工の仕事であったため大勢の若い女工が
集められました。それは 1979 年大竹しの
ぶ主演で日本中を沸かせた東宝の「ああ野
麦峠」それは冬極寒の飛騨高山から製糸工
場のある岡谷などに雪深い野麦峠を必死
に超えて若い女工達が出稼ぎした辛い物
語です。女工哀史では 12 時間超の労働で
待遇は悪い、賃金は低いでしたが工女によ
れば「それでも家の仕事より楽だった」と
大部分が答えていたそうです。一方で石川
幾太郎の経営は弟の和助の影響を多く受

けました、それは熱心なキリスト教の信者
であった和助の慈愛の精神と奉仕の心が
経営にも生かされたことです。

生産農家にて良い蚕を育てて頂き、会社
で女工に良い糸を紡いで、そして極上の織
物を織りあげる、この好循環を追求してい
ました、そして遠方からの女工には広い工
場敷地に寄宿舎を建ててこれに対応もし
ていました。1923 年幾太郎は当時で一万円
と 1000 坪の土地を寄付して豊岡教会が建
て女工たちは休日そこで礼拝に出席して
讃美歌を愛唱していました。この様に石川
組製糸社長の幾太郎は女工の積極的な教
育に取り組むなど慈愛と奉仕に満ちた雇
用形態が会社経営の柱であったのです。国
内屈指の製糸業となった幾太郎は取引先
のアメリカ貿易商を招くにあたり地方で
あっても一流の設計者で本物の建物をこ
の地に建てたいとの本人の強い考えで西
洋館を建てました。会社経営に良いものを
創るため原料の供給者、生産者、販売業者
を郷土愛の中で慈愛の精神と奉仕の心で
対応していた石川幾太郎はアメリカシカ
ゴで 1905 年にロータリーが生まれる以前
からこの地でロータリーを行っていたロー
タリアンであったと言えます。地元入間
の地場産業を育て地域経済発展に大きく
貢献した石川組はやがて関東大震災や昭
和の大恐慌により会社の閉鎖に追い込ま
れてしまいました。

しかしその偉業は今も地域の人々の心に
刻まれています。そして当クラブのパス
トガバナーの石川嘉彦氏はその末裔として
公私ともに活躍されておられます。

<幹事報告> 宮崎正文幹事

<報告・予定等>

- ・10/26(木)例会 万燈祭り振替のため休会
- ・入間万燈祭り 28日(土)29日(日)出席をお願いします
- ・11/30(木)企業訪問 (安川電機)
- ・九州北部豪雨災害お礼状 (大分臨海 RC)
- ・市民憲章の推進に貢献した人の被表彰候補者の推薦依頼
- ・交通安全功労者表彰候補者の推薦依頼
- ・RC 財団奨学生須山さん近況報告の手紙

●委員長報告

<クラブ奉仕委員会> 滝沢文夫委員長

本日例会前に、先日行いましたクラブフォーラムで出たご意見を検討しました。纏めたものを後日、皆様方に配布させていただきますと思います。

<米山記念奨学委員会> 一柳達朗委員長

奨学生の李さんは 28 日の万燈まつりには都合が悪く 29 日に参加すると連絡を頂いています。又、バザーの品物は 23 日までに事務局までお持ちください。ご協力よろしくをお願いします。

<地区研修委員会>

第3グループ研修委員 忽滑谷明委員

11月22日(水) PM6:30～西山荘ホールにて第3グループ研修セミナーを開催いたします。主に入会3年未満の会員の出席をお願い致します。

<ニコニコBOX> 田中快枝SAA

総合クリーンセンター栗原所長お土産ありがとうございます。本日は卓話宜しくお願いします。

「関谷永久君、宮崎正文君、田中快枝君」

入間南ロータリークラブ合同ゴルフコンペで優勝しました。「繁田光君」

早退いたします。「関根靖郎君、友野政彦君、後藤健君、一柳達朗君」

本日¥13,000 累計¥306,164

<出席報告> 金井祐一委員長

| 会員数 | 出席数 | 出席率 | 前回修正率 |
|-----|-----|-------|--------|
| 44名 | 28名 | 68.3% | 70.73% |

事前欠席連絡 5名

<マイロータリーについて>

事務局・奥田ひろ子

10月13日に新しくなりましたマイロータリー研修セミナーに関谷会長と行って来ました。マイロータリーに登録されている入間ク



ラブの会員は現在9名の方が登録されておりますが、20%弱ですので40%か50%位にしたいと思っています。

皆様のメールアドレスを私が登録後、マイロータリーの登録を行ってください。登録方法は8月号のガバナー月信に載っておりますので、宜しくお願い致します。

ロータリークラブ・セントラルのメリット



多くのデータを一つの場所に以前は別々に報告していたさまざまな情報を一カ所で管理できます。



地球に優しい方法 これまでの報告書のように紙を使うことなく、地球に優しい方法でクラブ活動計画を立てることができます。



リーダーシップの継続性 前年度のクラブ目標や達成状況を確認することができるので、クラブリーダーが毎年交代しても、一貫したクラブの取り組みが可能になります。



クラブの進捗を確認 目標に向けた進捗をいつでも確認でき、データをもとに現実的な目標を立て、活動の軌道修正をすることができます。



透明性を保つロータリアンは誰でもクラブの目標を確認ができます。



世界全体のロータリー活動の影響を把握以前は、世界各地のクラブ奉仕プロジェクトについて情報を提供するシステムがありませんでしたが、ロータリークラブ・セントラルで、ボランティアの数と時間、現物寄贈のうれしい情報を入力できるようになりました。

■■■講師卓話■■■ 《ゴミについて考える》



栗原 庸之 様

総合クリーンセンターでは、ごみの減量・資源化対策に取り組んでおり、本日の卓話もごみ減量の啓発活動の一つとして考えております。お手元に配布させていただきました資料

に基づきお話しさせていただきます。又、資料と一緒に配布しました巾着袋ですが、中にはごみ減量の啓発品として、ポケットティッシュ、固形石鹼が入っています。巾着袋は資源ごみとして回収した着物や洋服を再利用したものです。石鹼は保育所などから回収した調理用の油を、苛性ソーダと合わせて、根気よくかき混ぜて作ったものです。靴などを洗うのに効果的です。使ってみてください。



初めに入間市のごみの現状についてお話しさせていただきます。入間市の平成28年度のごみ排出量は、45,114トン、市民1人1日あたりのごみ排出量は829gであり、平成22年度と比較しますと約2,800トンの減量が図られています。ちなみに、2,800トンのごみを処理するのに必要な費用は6,400万円ほどになります。

次にごみの内訳ですが、約76%が可燃ごみとなっております。可燃ごみの内訳では紙類が43%を占めています。全国的な調査によりますと、紙ごみのうち15%~20%もの資源化できる紙が含まれていると言われおり、しっかり分別して資源とすることで、ごみの減量につながり、資源物として売却できれば、年間1,800~2,400万円ほどの収入が見込まれます。ごみの減量は処理費用の削減の他、焼却施設・最終処分場の延命化にもつながりますので、クリーンセンターとしては雑がみの回収に力を入れております。これを機会に、雑がみ回収に皆様のさらなるご協力をいただければと思います。

次に、3つのRから始まるごみの減量化と資源化のポイントについてお話しさせていただきます。この3つのRとは、Reduce・Reuse・Recycleの頭文字を取ったものです。

Reduce (リデュース) は発生抑制という意味で、ごみの発生自体を抑制することです。ごみを減らすためには、必要なものを必要な分だけ買う。使い捨て商品はできるだけ買わないなどのことをいいます。

2つ目のReuse (リユース) は再使用と言う意味で、そのままの形で別の用途に使ったり、修理して同じ用途に使うことです。

3つ目のRecycle (リサイクル) は再資源化という意味で、いらなくなったものを処分するのではなく、原料や燃料として再び利用することです。

ごみを減らすためには、「リサイクルをすれば良い」というように考えがちですが、それだけではごみは減りません。リサイクルという考え方の前に、一人ひとりがリデュース・リユースにどれだけ真剣に取り組むことができるかが、ごみを減らす重要なポイントとなります。ぜひ皆様もリデュース・リユースに取り組んでいただきますようお願いいたします。

クリーンセンターとして力を入れている事業として、小型家電のリサイクルがあります。小型家電とは、携帯電話やデジタルカメラ、小型ゲーム機などで、金や銅、パラジウムなどのレアメタルが使用されている家電のことです。この小型家電は「都市鉱山」と呼ばれるほど、多くの有用な金属を含んでいることから、市町村や都道府県の枠を超えて、広域的に収集し2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックの入賞メダルに、回収した小型家電を活用する事業が実施されています。この事業は、「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」というもので、約1,200の自治体が参加しており、入間市も参加しています。ぜひ皆様にもご協力頂ければと思います。

最後に「ごみ分別アプリ」のダウンロードしていただき、ご自分の住んでいる地域を登録していただくと、週ごと、月ごとのごみ収集カレンダーを一目で確認できるほか、ごみの出し忘れを防止するアラート機能、ごみ分別事典、よくある質問等ごみに関する情報が手軽に得られます。資料の最終ページに、アプリのQRコードが印刷されていますので、スマートフォンをお持ちの方は、活用してみてください。



■ ■ クラブフォーラム ■ ■

<奉仕活動はどの様にしたら良いか！ グループごとに討論・発表>

一班 吉岡信人会員発表

1. 国際奉仕は、過去に世界社会奉仕部門が存在し活動してきたが、ロータリー財団が同様の活動をしているという理由からR Iが当該部門を削除したという歴史があり、活動が低調なのはやむを得ないという点もある。
2. 職業奉仕部門は、会員の職場訪問を行い、また、その職場内の優秀な従業員を表彰するといった活動を今後定期的に行うことが出来れば良いと思う。
3. 社会奉仕部門は、ロータリーの奉仕活動の根本でもあり我々の身近なところから出来ることが多々あるはずなので、それらを再度見直していくことが必要と思う。



二班 細淵克則会員発表

1. 職業奉仕 会員の会社を継続、発展させていく事が、社会や従業員に対する一番の奉仕です。
2. 国際奉仕 米山奨学生やロータリー財団奨学生の支援。国際親善奨学生の学友の先輩達は各分野で活躍しています。国連の日本人最高の地位は、女性の中満さんです。国際親善奨学生です。入間クラブは基本的教育と識字率の向上のプロジェクトとしてネパール・カトマンズに教育資材の贈呈を企画しています。これは 2570 地区内のクラブとして、初めてのグローバル補助金の取り組みです。
3. 社会奉仕 当クラブは2013年のロータリー夢計画より、毎年社会的な支援を続けてきました。防犯灯、発達障害教育資材、リヤカー、ラップトップ等の贈呈を実施して来ました。入間川の河川敷の清掃以来、汗を流す活動をしていません。今後は野外活動も必要かもしれません。



三班 滝沢文夫会員発表

1. 職業業奉仕 会員相互の企業の見学発表
2. 社会奉仕 教育委員会等への支援。特別支援学校への援助
3. 国際奉仕 親日国への訪問、友好クラブ、姉妹クラブと繋がれば良いのでは。



四班 水村雅啓会員発表

- ここ数年入間クラブでは、学校、教育委員会、特別支援学校などへの図書、タブレット、ユニフォームなどの寄付や街路灯、防犯カメラの設置など資金提供型の奉仕活動が多く行われてきました。いずれも地域社会に役立つ活動であり、入間クラブの奉仕精神の崇高さを感じます。ただ、身体を使った活動では、入間川の清掃活動のほか。入会者が少なく、会員の高齢化率が高くなったせいかなど、感じます。しかし、ここ1,2年は若い方の入会も増えましたので、大いに身体を使った奉仕活動も行っていけたらと思います。国際奉仕関係では、本年度財団のグローバル補助金を活用したネパールへの支援が始動はじめ、大きなプロジェクトになると感じています。



五班 馬路宏樹会員発表

1. お金を使う活動ではなく、体を使う活動
2. ごみ拾いなどは1年限りではなく、数年続けて行うことが大事(できれば毎年)
3. リヤカーを西部地区小中学校に寄贈したがメンテナンスも必要ではないか
4. ベンチを作ったが朽ちてしまった場合撤去もするべきではないか



発行 入間ロータリークラブ

■事務所：〒358-0023 入間市扇台 3-3-7 ハイッ斎竹 101 号 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788

■Email iruma-rc@jupiter.plala.or.jp

■例会場：丸広百貨店入間店 6F バンケットホール Tel. 04-2963-1111

■例会日：木曜日 12:30~13:30 ■会報委員：吉沢誠十 吉永章子 繁田光 問野尚 佐藤輝武



Rotary